

(特非) ECOPLUS

一般助成

2年目

知識の提供・  
普及啓発

## 持続可能な社会の形成に向けた、 内外の多様な主体をつなぐ 「場の教育」ネットワークの構築



パネル討論の様子

シンポジウムの  
参加者数 160人

シンポジウムの  
報告書作成 1,000部

活動の全体目標に  
対する達成度 60%

### 課題

「地域」や「場」という言葉が、環境・野外教育や、観光、企業の社会貢献、地域おこしの視点から  
も多く語られているが、領域を越えた連携や共有はほとんどされていない。

### 活動内容

先端的な研究者や実践者からなる委員会を組織し、場の教育に関する事例を持ち寄って議論を深めた。世界的視野を持った場の教育を議論する国際シンポジウムを開催し、国内の関係者と議論を深め、ネットワーク作りを進めた。日英2カ国語で講演内容などを収録した報告書を作成し、国内外約500カ所に配付した。要旨を示す普及版のパンフレットも作成し、配付した。フェイスブック上でグループを立ち上げ、情報共有を行った。



基調講演するヘイワード博士

### 今後の課題

ネットワークの規模の拡大と議論の深化。

### 成果と工夫した ポイント



#### 成果

国際シンポジウムには、環境教育から幼児教育、地域おこしに至る幅広い関係者が集まった。海外ゲストの講演に加え、分科会や交流会、さらに昼食会議などを通じてネットワーク化を図ることができた。

#### 工夫

森のようちえんや地域おこし協力隊などにも参加を呼びかけ、各地の多様な事例が報告された。